

第2回地域・まちづくり委員会を 開催しました！

7月24日（水）に第2回地域・まちづくり委員会を開催し、講師と委員、事務局合わせて15名の参加がありました。

今回の委員会は、千葉市社会福祉協議会地域福祉推進課ボランティアセンター所長の栗野貴輝様と地域福祉推進課推進係主任主事の星崎徹様をお招きし、「社会福祉協議会」の活動について、学習会を開催しました。

【社会福祉協議会の概要】



社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と社会福祉法で規定されている地域福祉活動の中心的な役割を果たす非営利の民間団体です。全国社協(1)、都道府県・指定都市社協(47+20)、市区町村社協(1,846)が組織され、地域住民、社会福祉や保健・医療、教育など関連分野の関係者、様々な専門家・団体・機関等で構成しています。「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目的としています。千葉市社協は、ハモープラザ内の事務局と6つの区（中央・花見川・稲毛・若葉・緑・美浜）に社協の事務所があります。それぞれに地区部会が構成されています。地区部会は、概ね中学校区を単位に、現在68あり、地域で活動する団体や個人が連携し福祉活動を推進します。活動内容は、地区部会によって違いはありますが、福祉ニーズの調査、ふれあい食事サービス、いきいきサロン、ボランティア講座、地域支え合い活動、見守り活動、広報誌の発行、会員・ボランティア募集をおこないます。地域の課題解決を専門機関と一緒に取り組むCSW(コミュニティーソーシャルワーカー)を各区に配置しています。

地区部会の構成



【ボランティアセンターの概要】



千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターは、ボランティア活動に「関心がある」「参加したい」「手伝ってほしい」人たちの相談窓口として、さまざまな情報や活動を集めて、活動を応援し、ホームページ内と各区に設置しています。災害時は、「災害ボランティアセンター」を設置します。ボランティアセンターは、つたえる【情報の収集・提供】、むすぶ【相談受付・コーディネート】、まなぶ【講座・研修会等の企画・実施】、ささえる【活動支援】、ひろめる【広報・啓発】、つなぐ【連絡調整】、しらべる【調査・研究】7つの役割があります。仕事には、ボランティア活動に関する相談・指導・助言、企業の社会貢献活動への相談・支援、ボランティア登録及び斡旋、福祉教育の促進があります。

生協とも無理のない範囲で一緒に協力できればよいと思います。

(2)懇談では、社協と生協のつながりづくりの「お互いを知り、顔の見える関係性づくり」の第一歩となるように意見交換や生協の活動を紹介しました。

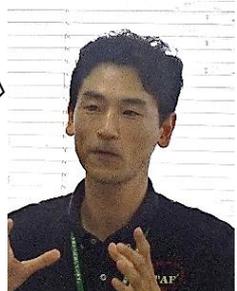
「社協」は行政の中に属していると思っていましたが、独立した組織であることを初めて知りました。社協のふれあい食事会などボランティア活動に参加したことがあります。いろいろな取り組みをしていることがわかりました。取り組みの中の移動困難者の無料送迎について教えてください。



車は社会福祉法人が提供し、同乗し付き添いするのは地域のボランティア、買い物先では店舗入り口に近い駐車場を確保していただきます。そのため、社会福祉法人・地元自治会・スーパーマーケット・社協で4者協定を結びます。事故に関しては千葉市社協が保険を掛けます。



送迎の取り組みは、買い物に出かけたいという思いを実現するために始まりました。



ボランティアの力が大変必要だと感じました。ボランティアセンターの福祉教育講座について教えてください。

A.福祉教育講座は、年1回学校の教員向けに開催しています。地域の社会福祉について学んでもらう講座です。

なのはな生協では、成田市加良部地区に子ども食堂「からべえ」を月2回開催し、この7月で2周年です。開店までに、組合員、民生委員、成田市社協、地域住民などで運営委員会を開き、開催場所や運営方法などを検討しまし



支えあい活動のコーディネーターはどんな役割を担っていますか。

A.初期相談を受けて、どういう取り組みが求められているかアンケートを取り、地域のニーズに応えられる活動に繋げていきます。



市川市の地域学校協働活動推進員にかかわり、社協さんとのつながりがありましたが、今日のお話で改めて活動の広さを知りました。今後の活動にも活かしていきたいと思います。





生活クラブでは「暮らしと家計の相談室」を開設し、生活困窮者の支援をおこなっています。社協さんとの繋がりが強い部分です。フードバンクでも各生協がフードドライブをおこない窓口は社協です。お互いを利用できる繋がりをつくっていただけるように思います



パルシステム千葉では、野田市と習志野市のセンターを拠点に介護予防体操の取り組みをおこなっています。子ども食堂に食材支援をしています。野田市ではネットワークに参加し、習志野市は地域包括支援センターと連携しています。



コープみらいでは、浦安市社協開催の高齢者サロンに食育サポーターの講師派遣をしています。そのつながりから、包括支援センターと連携し、地域でひきこもりがちの方と食事をしながら交流する予定です。



情報交換は今後、更にしていくべきだと思います。「生協はこんなことができるのではないか」と組合員が発信し、地域・地区が主体的に活動できるとよいと思います。